

たのはた

2011
No. 529

3

「雪だつて、
楽しい」

昼休み時間、グラウンドにできた雪山で遊ぶ田野畑小の子どもたち。大人には邪魔物扱いされる雪も、子どもたちには楽しく遊ぶ大切な「おもちゃ」。

主な内容

- 新 総合計画決まる 2頁
- しもへい・グリーンロード開通 8頁
- 第4回村社会福祉大会 9頁
- 村の話題 10頁

新 総合計画 決まる

総合計画は3段階構成
平成23年度から10年間

1月26日に召集された平成23年第1回村議会臨時会で、新しい「田野畑村総合計画」（以下「総合計画」）が決定しました。これまでの計画が、本年度で計画期間の最終年度となることから、審議会を設置し、諮問を受け、策定したものです。

新しい総合計画は、23年度から10年間、村政の指針となる計画。新年度からは、このたび決定した総合計画での村づくりが始まります。今後は、村づくりのためのさまざまな計画や施策の全てを、総合計画に基づいて実施していきます。

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3段階で構成しています。基本構想は、村の基本目標や将来像など、村づくりの基本的な考え方とその方向性を描いた10年間の計画。各領域の計画や施策は、全て基本構想に基づいて検討することから、村政の最上位計画といえることができます。

基本計画は、基本構想の考え方を受け、村づくりを進めるための基本的な施策の方向性を明らかにした計画。前期と後期の各5年計画で構成します。

実施計画は、村づくりのための具体的な事業を明らかにします。向こう3年間に取り組む事業の実施期間、予算などを計画。内容は時代や経済情勢の変化などに的確に対応するため、毎年度見直しを行います。

村民参加で計画が誕生 村づくりへの思い反映

村づくりを進める力は、村民と行政が一体となることによって、生み出されます。村づくりの計画である総合計画は、田野畑村に暮らす全員の共通目標でなければなりません。

新しい総合計画づくりには、多くの皆さんに参加していただきました。村が抱えている課題、実現したい将来像など、たくさんの方の意見や提言をいただき、出来上がったのが総合計画です。

◆地域づくり計画：各自治協議会（6団体）がつくった計画。地域の課題や要望などは、この計画をおして総合計画に反映しています

◆村民アンケート：審議会委員や全世帯を対象に実施。村づくりへの願いなどを計画に反映しています

◆作業グループ・策定委員会：役場職員の作業グループが、現状課題の点検や素案を協議。各課長等で組織する策定委員会で検討を加えました

◆審議会：各種団体からの推薦者に、一般公募4人を加えた26人で構成。「環境・交流」「生活・学習」「産業・基盤」の三つの部会を設け、審議を重ねていただきました

このように総合計画は、多くの皆さんに参加していただき誕生しました。

基本理念

「参加・協働・創造」によるむらづくり

人と自然が織りなす 心豊かな協働の村 たのはた

基本目標



平成23年度にスタートする新しい「田野畑村総合計画」が決まりました。村は1月26日、村議会に同計画案を提案。村議会の議決を得て決定しました。新しい計画の基本理念は『「参加・協働・創造」によるむらづくり』、基本目標は、「人と自然が織りなす 心豊かな協働の村 たのはた」と決めました。この理念と目標は、美しい自然環境の中、住民と行政が一緒になって未来の村を築いていく——そんな村づくりの姿を表しています。村に生きる私たちみんなで一丸となり、村づくりに取り組んでいきましょう。

基本構想

「基本構想」は、計画全体の基本的な考え方や方向性を明らかにしたものである。基本理念、基本目標、将来像、施策の方向性を定めています。

基本理念

役割分担の中で協働を

新しい総合計画では、村の基本理念を『参加・協働・創造』によるむらづくり』と設定しました。基本理念は、総合計画全体に通じる不変的な考え方です。

- ◆参加：地域づくりに主体的に参加すること
- ◆協働：協力しあい、ともに行動すること
- ◆創造：新しいものを自らつくり出すこと

村づくりを推進するためには、ここに暮らす私たちが一体となることが大切。村民も行政も同じ目標に向かい、参加し、協働し、創造することで村づくりを推進する力が生み出されます。

基本目標

私たちみんなの合言葉

基本構想では、新しい基本目標を「人と自然が織りなす心豊かな協働の村 たのはた」と定めました。この目標は、自然や景観が適正に保全されている環境の中で、▼地域社会を担う人材の育成▼安心して心豊かに暮らせる生活環境の向上▼そんな村づくりの姿を表現しています。そして、住民と行政が協力し、一緒になって未来の村を築いていこうという決意が込められています。

将来像

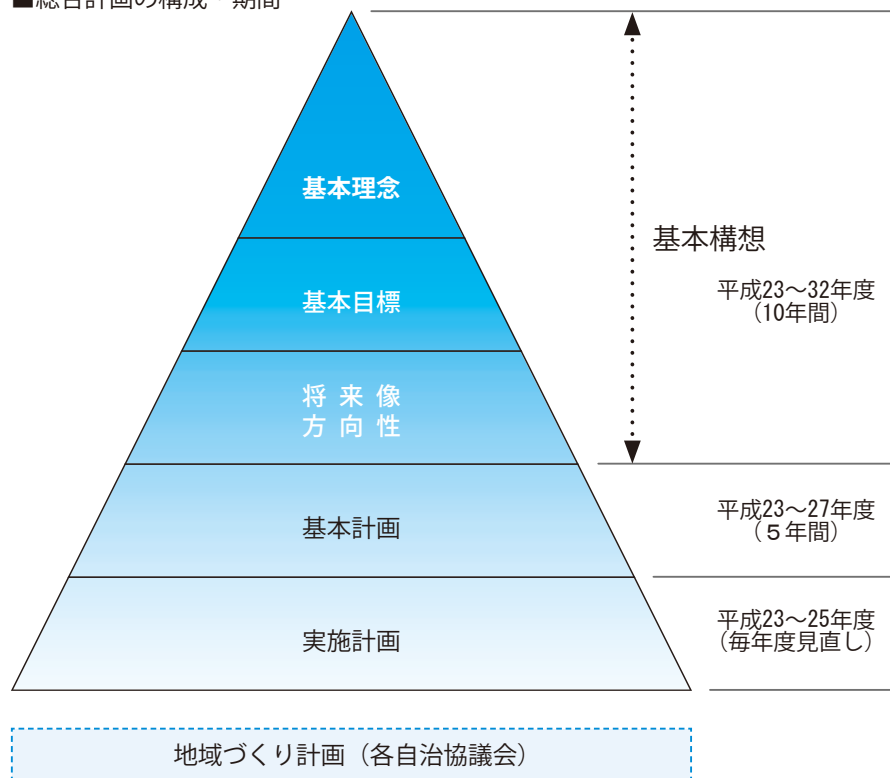
村づくりに寄せる思い

基本目標は、田野畑村に生きる私たちみんなの合言葉。一丸となって新しい村づくりに取り組んでいきましょう。

将来像は、基本目標を受けて描いた、目指そうとする村の未来の姿。村の現状と課題、時代の流れなどを分析、検討して、

▼環境▼生活▼学習▼産業▼交流▼交通の六つの分野の将来像を設けました。これは、村民アンケートや各自治協議会の地

■総合計画の構成・期間



地域づくり計画作成に向け、各自治協議会でワークショップを開催(写真は沼袋地区)

施策の方向性

将来像の実現に向けて

村の現状と課題などから導き出した六つの将来像。この将来像の実現に向け、環境保全、保健、教育、農業、情報、道路など23項目の施策の方向性を定めました。

6分野の実現目指す 施策の方向性23項目

村の現状と課題から導き出した、

- ▼環境▼生活▼学習▼産業▼交流▼交通の六つの将来像。施策の方向性を次のように定め、それぞれの将来像の実現を目指します。

環境

豊かな自然と共生し暮らしに安らぎのある村

環境保全：人と自然が豊かにふれあえる地域づくりを推進します▼自然環境▼景観形成▼地球温暖化防止

生活環境：快適な生活環境づくりを推進します▼ごみ・し尿処理▼上下水道▼住宅・公園

生活

安全で生き生きとした生活が営まれ笑顔あふれる村

保健：心と体の健康づくりを推進します▼健康づくり▼母子保健▼成人保健▼歯科保健▼感染症対策

医療：「病診連携」による広域医療体制を強化します

福祉：みんなが幸せに暮らせる「結いの社会」をつくります▼児童福祉▼高齢者福祉▼障がい者福祉

消防・安全：安全で安心な地域社会をつくります▼消防・防災▼安全

定住促進：定住環境の充実を図ります▼定住・移住

学習

ふるさとに愛着を抱き人間性豊かな人材を育てる村

教育：進んで学び、心豊かでたくましい子どもを育成します▼家庭教育・就学前教育▼学校教育

産業

地域資源を活用した産業間連携が盛んで働きがいのある村

農業：中核農家等の育成により、農業の持続的発展を図ります▼畜産▼農産園芸

林業：多面的機能を持つ森林の適正管理を推進します

水産業：資源管理型漁業を促進し、経営の安定化を図ります

商工業：商工業の活性化と安定した経営を支援します▼商業▼製造業・建設業

雇用・労働：安定経営による雇用の場の確保と創出に努めます

観光：おもてなしの心を浸透させ、観光の魅力向上させます

交流

多様な交流を大切にし心ふれあう村

地域コミュニティ：地域コミュニティ活動の活性化を図ります▼住民自治▼協働都市との友好と交流：都市との交流の促進により活力ある地域づくりを推進します

情報：情報通信基盤を充実させ、利活用能力の向上を図ります▼情報通信▼情報発信

交通

誰もがどこにも容易に移動でき連携が深まる村

道路：広域的な交流・物流を促進する道路網を整備します▼国道・県道・村道

公共交通：効率的で利便性の高い交通体系を構築します

基本計画

「基本計画」は、村づくり施策の基本的な考え方を定めたもの。平成27年度までの5年間に、特に重点的に取り組む施策を掲げています。

今回策定した基本計画は、平成23年度から27年度までの5年を期間とする前期計画です。基本構想で描いた基本目標や将来像を実現するため、この基本計画によって各領域ごとの施策を実施していきます。

基本計画は、村の現状と課題を分析しながら、▼村づくりのための中期的な行政運営の指針▼村民や各種組織と行政との一体的な活動や自主的な活動の誘発▼国や県に対する協力・支援の必要性―など、基本的な考え方をまとめたもの。基本構想で掲げた基本目標と将来像の実現を目指して、特に次の六つの施策に重点的に取り組みます。

1 豊かな自然環境を保全します

- ◆環境基本計画および環境保全活動の推進
- ◆日本一きれいな村づくりの推進
- ◆ごみの減量化とリサイクル活動の促進
- ◆生活排水の適正処理と合併処理浄化槽の普及促進

【目標とする指標】

指 標	現在の数値	目標の数値
村民1人1日当たりのごみ排出量	485g (H21)	474g
污水处理率	56.6% (H21)	60.5%

2 子育て環境を充実します

- ◆妊婦への支援
- ◆乳幼児家庭訪問や相談支援
- ◆保育料の全額無料化
- ◆保育環境とサービスの充実
- ◆中学生までの医療費無料化の継続



若桐保育園で遊戯を楽しむ子どもたち

【目標とする指標】

指 標	現在の数値	目標の数値
3歳児健康診査の受診率	92.8% (H21)	100%
新生児家庭訪問率	64.0% (H21)	90%以上

3 高齢者の生活をサポートします

- ◆買い物弱者への支援
- ◆見守り訪問や相談対応
- ◆医療・介護・福祉等の充実
- ◆成年後見制度の普及と利活用

【目標とする指標】

指 標	現在の数値	目標の数値
生活支援サービス	未実施	実施
自主サロン活動数	6地区 (H22)	12地区

笑顔と笑い声が絶えないはつらつ交流会

4 安全で安心な暮らしを向上させます

- ◆宮古消防署田野畑分署の移転新築
- ◆ヘリポートの整備
- ◆津波防潮堤整備の促進
- ◆自主防災組織の育成

【目標とする指標】

指 標	現在の数値	目標の数値
自主防災組織の結成数	2団体 (H22)	6団体
年間火災発生数	2件 (H21)	ゼロ



村防災訓練に参加する島越自主防災協議会

5 地域に根差した産業を振興します

- ◆道の駅の再開発による物販機能強化
- ◆1次産業の担い手確保
- ◆振興特産品生産拡大への支援
- ◆ネットショップたのはたの開設
- ◆海洋観光資源の開発
- ◆男子型雇用の場の創設
- ◆交流人口拡大のための交通基盤の整備

【目標とする指標】

指 標	現在の数値	目標の数値
産業別純生産額の総額	738万円 (H21)	869万円
体験型観光の利用者数	7,998人 (H21)	10,000人



年間1万人の利用を目標にする体験型観光

6 社会を支える人づくりを進めます

- ◆「教育の日」設定による村民参加の教育振興運動の推進
- ◆小中一貫教育の推進
- ◆地域総合型スポーツクラブの設立
- ◆学校・村民プールの整備
- ◆給食センターの整備
- ◆「伝承館」の整備

【目標とする指標】

指 標	現在の数値 (H21)	目標の数値
学校図書館図書標準達成率	小学校87.0%	100%
	中学校78.1%	100%
生涯学習等への参加者数	講座2,789人	3,000人
	スポーツ1,125人	2,000人



マレットゴルフなどスポーツ大会へも積極的な参加を

基本理念『「参加・共同・創造」によるむらづくり』に向かい、
私たちみんなが一丸となって村づくりに取り組んでいきましょう。

大会宣言

今、村内においては、少子・高齢化や人口の減少が急速に進み、高齢者世帯が増加する中で近隣のつながりの希薄化など、公的福祉サービスだけでは解決できない多様な生活課題が生じております。

また、子育てに対する支援や障がい者が自立して地域の中で安心して生活できる環境の整備など、福祉施策に対する期待と、地域の福祉活動に向ける村民意識はますます高まっております。

このような状況を踏まえ、私たち社会福祉関係者は、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支え合い、安心して生活できる豊かな福祉社会の実現に向けて、心を一つにしてさらなる研さんを積まなければなりません。本大会を契機として、新たな決意をもって努力することを誓い、ここに宣言いたします。

1. 高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができ、お互いに支えあう地域づくりを進めます

1. 豊かな社会福祉の実現を目指し、行政、地域住民、福祉関係機関等が協働・連携し、「結いの里」づくりを進めます

1. 多くの村民が地域活動の場に気軽に参加できるよう、ボランティアセンターの機能強化を進めます

1. 多様な生活課題を抱える全ての住民に対し、良質な福祉サービスの提供とともに、その適切な利用を支援する体制づくりを進めます

平成23年2月20日

第4回田野畑村社会福祉大会

■村社会福祉大会長表彰の受賞者（敬称略）

氏名	事 績
箱石 大蔵	多年にわたり村社会福祉協議会長として、事業拡大など経営安定化、社会福祉の増進に尽力
工藤 智榮 藤島 秀夫	多年にわたり村社会福祉協議会役員として社会福祉の増進に尽力
上村 繁幸	多年にわたり村社会福祉協議会評議員として社会福祉の増進に尽力
平坂 百子	多年にわたり民生委員として社会福祉の増進に尽力
和山 良子	多年にわたり宅配ボランティア活動を行い、社会福祉の増進に尽力



喜楽師匠のジョークを交えた講演で、開場は笑顔に



大会宣言をする
小野寺副大会長

第4回村社会福祉大会（村社会福祉協議会主催）は2月20日、アズビイ学習センターで開催され、約100人が「結いの里」の実現を目指して決意を新たにしました。大会長の畠山守村社会福祉協議会長は「温かく共に助け合う地域

づくりを目指して、共通理解を深めましょう」とあいさつ。誰もが安心して生活できる豊かな社会福祉の村づくりを呼び掛けました。あいさつに続き行われた大会長表彰では、長年にわたり社会福祉事業の推進に貢献された6人を表

第4回

村社会福祉大会を開催

「結いの里」を目指して決意新たに

2月19日

岩泉一田野畑一普代を結ぶ農業用道路

しもへい・グリーンロード



農業用道路の開通を祝ってテープカットが行われ、くす玉が割られた

開通

下閉伊北区域農用地総合整備事業（独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター実施）の完工式は2月19日、岩泉町で行われ、約110人が完成を祝いました。農業用道路の開通式は、同町の夏節トンネルで行わ

れ、開通を祝ってテープカットが行われた他、くす玉が割られ、参列者からは大きな拍手が起きました。その後、同町内のホテルに移動して完工式を実施。同センターの美濃真一郎東北北海道整備局長は式辞で「整備した農地や農道が有効に活用され、地域産業の発展、生活の利便性向上が図られることを期待しています」と話しました。この事業は、平成15年1月に着工。総事業費183億円、約8年にわたった大規模事業です。岩泉町、普代村、本村の3町村で土地の区画整理や土層改良など農用地119haを整備。また、岩泉町小屋敷地区から本村の甲地と田代地区を経由し、普代村の鳥居地区まで至る延長15・7kmの農業用道路（愛称しもへい・グリーンロード）も整備しました。この事業で整備した農地や農業用道路によって、3町村の農畜産物の生産や流通の効率化がより一層図られます。

携帯電話エリアを拡大

猿山のNTTドコモ、ソフトバンクモバイルが開局

■参入事業者と開局日

整備地区	参入事業者	開局日
猿山	NTTドコモ	2月25日
	au	6月下旬
	ソフトバンクモバイル	2月25日
七滝	NTTドコモ、au	6月下旬
	ソフトバンクモバイル	2月25日
室場	NTTドコモ、au	6月下旬
	ソフトバンクモバイル	2月25日
千丈	NTTドコモ、au	6月下旬
	ソフトバンクモバイル	2月25日
細沢・三沢	NTTドコモ	6月下旬

携帯電話のつながらない「不感地域」の解消を目的に、村と携帯電話事業者が共同で進めてきた携帯電話基地局の整備。この工事が1月末に完了し、2月25日に一部開局しました。本年度、整備を行ったのは、猿山七滝、室場、千丈、細沢・三沢の5カ所。そのうち開局したのは、猿山七滝、室場、千丈のソフトバンクモバイルと猿山のNTTドコモです。基地局と各通信事業者の親局とのケーブル接続が遅れているため、NTTドコモ（猿山を除く）とauの開局は、6月下旬の予定になりました。全てが開局すれば、村内のほぼ全地区をカバーできる予定です。万が一、不感地域がある場合は、早期に全村で携帯電話が使用できるように、今後も努めていきます。



「グループホームつくえ」の職員⑥から施設の概要説明を受ける参加者

村内の施設を70人が視察研修

村は2月21、22日の両日、村内の道路や施設などを巡る「村内視察研修」を行いました。約70人が参加したこの研修は、普段なかなか見られない施設などを視察できることから申し込みが殺到。当初1日の開催予定を2日に分けて実施しました。下閉伊北農業用道路、サンマッシュ田野畑、田野畑中などを視察。藤島清美さん(70)＝甲地＝は「いろいろな場所を初めて見ることができました。道路も施設も立派で驚いています」と熱心に見学をしていました。

あそびの大切さを25人が学ぶ

村地域子育て支援センター主催の子育て講演会は2月22日、アズビィ楽習センターで開かれました。参加した25人は「あそびが必要!」をテーマにした講演を通し、おもちゃの選び方や遊びの大切さを学びました。講師はアクトパコおもちゃトリハビリ研究所(雫石町)の松田均代表。松田代表は「おもちゃは目、耳、手で楽しむもの。見る、聞く、触るという感覚が養われます。子どもと一緒に遊ばしましょう」と遊びの大切さを話していました。



「遊び方はいろいろ。他のおもちゃとの組み合わせも必要」と話す松田代表



相手ディフェンスをかわしてロングシュート

バスケットで真冬の体育館に熱気

村バスケットボール協会(工藤優会長)主催の「第9回村ミニバスケットボール大会」は1月30日、田野畑小体育館で開催されました。大会には本村と岩泉町から男子6チーム、女子2チーム、80人の選手が出場。真冬の体育館は選手と応援団の熱気に包まれました。試合の結果、男子の部は「田野畑ライオンズ」、女子の部は「田野畑ラビッツ」が優勝。女子の部で最優秀選手に選ばれた平坂奏詠さん(田小6年)は「中学校でも頑張ります」と話していました。

大地の魅力探るシンポを開催

村主催の「大地に輝きを新発見! たのはた・ジオツーリズムシンポジウム」を2月13日、ホテル羅賀荘で開催しました。講師は県立博物館学芸第1課長の大石雅之さんと同館研究協力員の吉田裕生さん。吉田さんは「地層、化石、地形、鉱物など資源として貴重なものが数多い田野畑村。何より、地元の人が地元のことを知ることが大切です」と講演。参加した約100人は、村の地形や地質などに秘められた魅力や可能性について理解を深めていました。



村の地質学的特徴などを解説する大石さん

番屋群をボランティアで修繕

机浜番屋群保存活用協議会(中机隆男会長)は1月30日、年末年始の大型低気圧で被害を受けた番屋の修繕を行いました。24棟ある番屋のうち約3分の1が、暴風雪によって屋根や壁を吹き飛ばされるなど、大きな被害を受けていました。当日は、同協議会や体験村・たのはたネットワーク(道合勇一理事長)の呼び掛けで、約30人がボランティアで作業。参加者は、壁に木材を打ち付けたり、屋根にトタンを張ったりし、約5時間の作業に汗を流していました。



約30人のボランティアが力を合わせて机浜番屋群を修繕

ソフトバレーで好・珍プレー

村教育委員会主催のソフトバレーボール大会は2月13日、アズビィ体育館で開催されました。8回目を迎えた今年は、6チーム32人が参加。寒さを吹き飛ばす熱戦の中にも、珍プレー好プレーが続出。体育館は笑顔と歓声に包まれていました。地区の友人と出場した工藤鈴架さん(36)＝島越＝は「友達と一緒に、楽しく体を動かすことができました」と笑顔を見せていました。試合結果…優勝ミッドナイトクラブA(佐々木升代表)、準優勝パワフル5(八重樫由美子代表)



珍プレーではコートの中も外も笑顔であふれた

お知らせ

平成23年7月24日 地上アナログ放送終了

地上デジタル放送移行まで約5カ月。不明な点や困っていることなどは問い合わせてください。早めの準備をしましょう。

◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111内線63)、またはデジサポ岩手(☎0570-07-0101)

村からのお知らせ

地デジ難視聴対策は早めに

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地上デジタル放送を受信できない地域に住んでいる人には、次のような国の支援があります。

7月24日の地デジへの完全移行日が、あと約5カ月に迫っています。手続きが遅れると工事が間に合わず、テレビの視聴ができなくなる場合があります。希望する人は早めに相談してください。

◆暫定的な衛星放送利用…

暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送の番組を視聴するものです。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います

◆申請期限…3月31日(木)

◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

村民税非課税世帯にもチューナー

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できていない「NHK放送受信料全額免除世帯」の支援を行っています。その対象には「村民税非課税世帯」も含まれています。

現在、地デジ放送に対応できていない世帯のうち、世帯全員が村民税非課税の世帯に対して、簡易な地デジチューナー1台を無償で配布します。(既に地デジ対応機器を持っている世帯は対象外になります)

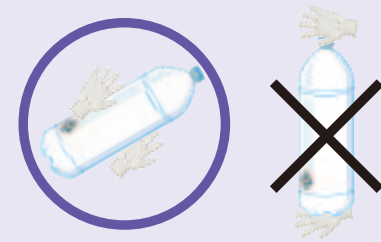
◆受付期限…7月24日(日)

◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

ペットボトルは手つぶしも可に

現在ペットボトルは、資源ごみとしてつぶさずに収集しています。4月1日からは、袋に入る量を増やすため、手でつぶすことも認められるようになります。つぶすときは、けが防止のため軍手などを使用しましょう。つぶす前には、これまでどおりふたとラベルを外し、本体をきれいに洗ってください。

◆問い合わせ先…生活福祉課(☎34-2114 内線21)



※ペットボトルは横つぶしにしてください

テレビリモコンもリサイクルへ

テレビやエアコンは、家電リサイクル法でリサイクルが義務付けられています。それに付属したリモコンもリサイクルの対象になりますので、次のとおり取り扱ってください。

◆リサイクル時の注意…

①テレビやエアコンをリサイクルに出すときは、リモコンも一緒に出す

②リモコンだけ残っている場合は、テレビやエアコンを引き渡した小売店に渡す

③小売店に拒否された場合は、日本通運(株)宮古営業所に直接持ち込む

※いずれの場合も処分料は無料

◆問い合わせ先…生活福祉課(☎34-2114 内線21)

「立候補届出説明会」を開催

4月24日(日)に投開票を行う村議会議員選挙の「立候補届出説明会」を開催します。詳しい内容は、問い合わせてください。

◆日時…4月5日(火)

午前10時～

◆場所…役場第1会議室

◆問い合わせ先…選挙管理委員会(☎34-2111 内線91、92)

住基カードを無料交付します

村は、住民基本台帳カード(住基カード)を3月31日まで無料交付しています。住基カードには「写真付き」と「写真無し」の2種類があり、写真付きのものは公的な身分証明書としても利用できます。

現在、戸籍や住民票など交付申請する場合は、運転免許証やパスポートなどの身分証明書が必要です。これらを持っていない人は、写真付きの住基カードで申請できます。無料交付期間にぜひ作成してください。

◆受付時間…午前9時～午後4時(土日祝日は除きます)

◆手続きに必要なもの…①運転免許証や保険証など(本人確認用)②印鑑

◆代理人が申請する場合…①本人の印鑑②代理人の印鑑③委任状

◆その他…写真付きを希望する場合、本人の顔写真1枚(6カ月以内に撮影したカラー写真、縦4.5センチ×横3.5センチ)が必要です。交付には受け付けから2週間程度かかります

◆問い合わせ先…生活福祉課(☎34-2114 内線25)

その他のお知らせ

若桐保育園で園児を募集

若桐保育園では、平成23年度の入園児を募集しています。

◆対象児童…保育に欠ける満5カ月以上の未就学児

◆開園日…月～土曜日(ただし、祝日、年末年始を除く)

◆保育時間…午前7時30分～午後6時30分(延長保育有り)

◆申込期限…3月10日(木) 必着

◆申し込み・問い合わせ先…若桐保育園(☎37-3577)

農業入門塾の受講生募集

県立農業大学校では、農業に関心がある人を対象に「いわて農業入門塾」を開講します。農業の知識や野菜栽培方法の研修に参加してみませんか。

◆募集定員…100人

◆募集期間…3月7日(月)～4月6日(水)

◆申し込み方法…住所、氏名、年齢、性別、職業、連絡先、農業体験の有無、就農希望の有無、農用地の有(面積)無を記入して、官製はがきかFAXで申し込んでください

◆開講場所…県立農業大学校

◆開講日…5月7日(土)～10月22日(土) 毎週土曜日 午後1時～3時30分

◆受講料…10,000円(教材費、損害保険料)

◆内容…野菜栽培の講義と実習

◆申し込み・問い合わせ先…県立農業大学校・農業研修センター(〒029-4501 金ヶ崎町六原蟹子沢14 ☎0197-43-2107、FAX0197-43-2108)

社協で臨時保育士を募集

村社会福祉協議会では、臨時保育士を募集します。

◆募集人数…若干名

◆勤務場所…若桐保育園(予定)

◆応募資格…保育士または幼稚園教諭の資格を有する人(3月末までに取得見込者含む)

◆任用期間…4月1日～平成24年3月31日

◆給与など…当会の規定による

◆応募期限…3月11日(金)

◆応募方法…履歴書(写真付き)、保育士または幼稚園教諭資格証明書の写し(資格取得見込者は卒業見込み証明書など)を持参または郵送してください。後日、面接の時間と場所をお知らせします

◆応募・問い合わせ先…社会福祉法人田野畑村社会福祉協議会(〒028-8407 田野畑村田野畑120-1 ☎33-3025)

税務専門官の採用試験を実施

◆受験資格…

①昭和57年4月2日から平成2年4月1日生まれの人

②平成2年4月2日以降生まれで次に掲げる人

(1)大学卒業者(24年3月までに卒業見込者含む)

(2)人事院が(1)と同等の資格があると認める人

◆受付期間…4月1日(金)～14日(木)

◆申込書の請求…最寄りの税務署、仙台国税局、人事院東北事務所

◆問い合わせ先…仙台国税局人事第二課試験研修係(☎022-263-1111 内線3236)

森林作業の講習会を開催

森林内での伐採作業や道路の草刈り作業など、就労する場合に必要な資格取得の支援を目的に、講習会を開催します。

チェーンソー講習(23人)

◆日時…3月15日(火)～16日(水) 午前8時30分～

◆受講料…3,300円

刈り払い機講習(20人)

◆日時…3月17日(木)

午前9時～

◆受講料…2,600円

共通事項

◆場所…アズビィ楽習センター

◆対象者…村内に居住している人で、林業関係などの資格を必要としている人

◆申込期限…3月11日(金)

※定員になりしだい締め切ります

◆その他…欠席しないようにしてください。受講料は、釣り銭がいらぬよう準備してください

◆応募・問い合わせ先…田野畑村森林組合(☎33-2811)

年金納付は口座振替がお得

平成23年4月分からの国民年金保険料は月額15,020円。月々の保険料を口座振替の早割(当月保険料を当月末引き落とし)にすると、50円割引されます。また、現金納付よりも割引額が多い6カ月前納制度などもあり大変お得です。

◆申し込み方法…納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参し、年金事務所か金融機関へ申し出てください

◆問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

★仕事は？

田野畑農産(株)で菌床シイタケの生産をしています。主に任せられているのは収穫作業。もうすぐ就職して1年ですが、良いシイタケがたくさん採れたときはやりがいを感じます。

★趣味は？

家でテレビゲームですね。体を動かすことも好きで、ランニング、筋トレ、野球、バレー、バドミントン…、いろいろなスポーツもします。

★理想の女性のタイプは？

優しくて自分と気が合う人。芸能人だと、香里奈さんや上戸彩さんみたいな人がいいなあ。

★今後、挑戦したいことは？

父の仕事(消防士)にもあこがれているので、消防士目指して勉強とかも頑張りたいです。

★最後に一言お願いします！

高校を卒業して村に就職。田野畑に貢献していければいいと思っているので、皆さん、一緒に頑張りましょう。それと、おいしい田野畑産のシイタケ、ぜひ買って食べてください。



たかひろ
三浦 貴翔さん(19)＝田野畑＝



わが家の
アイドル



かすみ
川原 佳純ちゃん(1歳1カ月)
父・敦士さん、母・ゆかりさん＝浜岩泉＝

お母さんからのひとこと

アンパンマンが大好き。とっても笑い上戸な子です。好奇心旺盛で自分で何でもやりたがります。自分のペースでゆっくり大きくなってね。

編集ごぼれ話

最近、「みんなの広場」のコーナーに、季節の話、広報の感想など、たくさんのお便りをいただきます(スベースの都合で、掲載できなかった皆さん、すみません)。広報を読んでいたでいる感謝とともに、広報は皆さんと一緒に作るものなんだとあらためて感じています。皆さんのご意見も取り入れながら、もっと親しまれる「広報たのはた」を目指しますので、これからもよろしく願います。▼2月20日の村社会福祉大会。喜楽駄師匠の記念講演は、取材するのを忘れるほど笑っぱなし。あつという間の1時間でした。笑いながらも勉強になったこともあり、人を笑わせる話術は、話す順番、身ぶり手ぶり、声の大きさなどいろいろな要素があるんだと感じました。広報にも同じことが言えるかもしれません。記事の展開、レイアウト、文字や写真の大きさ…。皆さんに伝わる広報を作るためには、まだまだ勉強と努力が必要だと再認識。よし、これからも頑張るぞ！(政策推進課 佐々木和也)